

- 問1 2018年の統計において、東京国際空港（羽田）の年間旅客数は約8,000万人、成田国際空港は約4,000万人を記録し、これら東京圏の2つの空港を合わせた利用者数は一億二千万人を突破しています。この状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 格安航空会社（LCC）の利用が減少したことで、成田国際空港の旅客数は東京国際空港に比べて大幅に少なくなっている。
 2. 成田国際空港と東京国際空港は、国際線と国内線の拠点を分担しながら、世界有数の規模の旅客数を支えている。
 3. 成田国際空港が国内線の中心、東京国際空港が国際線の中心として機能しており、両者を合わせても利用者数は一億人に満たない。
 4. 東京国際空港の旅客数は成田国際空港の約2倍であるが、両空港とも旅客数より貨物輸送量の方が多いことが特徴である。
- 問2 高度経済成長期の日本では、都市部の人口過密を解消するために、郊外で「ニュータウン」と呼ばれる大規模な住宅地の開発が進められました。東京の多摩ニュータウンにおいて、1975年ごろに出生数がピークを迎えた主な要因として、当時の社会状況をふまえた適切な説明はどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 都市部から移り住んだ若い世代による核家族世帯の入居が同時期に集中したため
 2. 地方から移住してきた高齢者による三世帯同居世帯が大幅に増加したため
 3. バブル経済の影響で、都心から郊外へ移住する高所得者層が急増したため
 4. 1990年代の少子化対策により、子育て支援制度が全国に先駆けて充実したため
- 問3 地方別の農業産出額の構成を示した統計において、野菜の占める割合が約40%と極めて高く、花きも約8%に達している一方、米の割合が10%台にとどまっている地方があります。このように、大都市という巨大な消費地に近い利点を生かし、新鮮な野菜や花などを生産して出荷する農業の形態を何といいますか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 抑制栽培
 2. 近郊農業
 3. 適地適作
 4. 促成栽培
- 問4 関東地方に位置するある県は、工業出荷額が約13兆円に達し、製造業の中でも特に印刷業の規模が大きいという特徴があります。また、農業面でも全国有数の産出額を誇り、米の産出額が東京都や群馬県を上回るこの県の名として正しいものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. 千葉県
 2. 埼玉県
 3. 茨城県
 4. 神奈川県
- 問5 千葉県木更津市の沿岸部において、かつての地形図では海であった場所に「築地」という地名や大規模な工場、港湾施設が確認できるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。
 2. 地球温暖化による海面低下の影響で、もともと海底だった場所が自然に陸地化したため。
 3. 大規模な干拓事業によって、農業用地としての利用を目的に海水を抜き取ったため。
 4. 地震による地盤の隆起によって、かつての浅瀬が広大な平坦地へと変化したため。
- 問6 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 滋賀県
 2. 群馬県
 3. 栃木県
 4. 福島県
- 問7 日本の主要な農業県のデータを比較した資料において、茨城県は「耕地一ヘクタールあたりの農業産出額」が全国平均を大きく上回り、トップクラスにランクされています。この数値から読み取れる茨城県の農業の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 他県に比べて農地の価格が安いため、新規就農者が増加している。
 2. 一戸あたりの農地が非常に広いため、生産の総額が大きくなっている。
 3. 農業に従事する人口が極めて多く、労働力に頼った生産を行っている。
 4. 土地利用の効率がよく、限られた面積から多くの収益を上げている。
- 問8 ある地域の常住人口（夜間人口）に対する、昼間その地域にいる人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都のように、この数値が100を大きく上回る都市において、人口がこのように変化する主な理由として適切なものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
1. 東京都は面積が狭く、1平方キロメートルあたりの人口密度が高いため
 2. 観光客が夜間に宿泊施設を求めて周辺の県へ移動するため
 3. 東京都の合計特殊出生率が周辺の県と比較して極めて高いため
 4. 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため
- 問9 日本の、ある地域における農業産出額の品目別割合について、野菜の割合が約41%と極めて高く、米（約17%）や畜産（約28%）を大きく上回っている地域があります。この地域の農業の名称と、その特徴として正しいものの組み合わせを選びなさい。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 北海道の土地利用型農業：広大な土地を活用し、機械化を進めて大規模な経営を行う。
 2. 九州地方の促成栽培：温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜を通常より早く出荷する。
 3. 関東地方の近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産する。
 4. 東北地方の銘柄米生産：広い平野と冷涼な気候を活かし、単作地帯として米の生産に特化する。
- 問10 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。
 2. 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。
 3. 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。
 4. 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。
- 問11 昼夜間人口比率は、ある地域の夜間人口に対する昼間人口の割合を示したものです。ある地域における「昼間人口」を算出するための正しい計算式として適切な説明はどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。
 2. その地域の夜間人口に、地域外へ通勤・通学する人を加え、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を引く。
 3. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、さらに他市区町村から転入してくる人を引く。
 4. その地域の夜間人口に、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加え、さらに他市区町村へ転出する人を加える。
- 問12 東京湾の西岸から北岸の臨海部に位置し、東京都から神奈川県の横浜市、川崎市などを中心に広がる工業地帯の名称はどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 京葉工業地帯
 2. 北関東工業地帯
 3. 中京工業地帯
 4. 京浜工業地帯